

横ばいとなっている

(前回:横ばいとなっている)

生産は横ばい傾向であるが、弱含んでいる。輸出は7か月連続の増加。個人消費は横ばい傾向。
雇用は求人に改善の動きがみられるものの、厳しさがみられる。

■ 9月生産:横ばい傾向であるが、弱含んでいる

(8月:横ばい傾向)

- 鉱工業生産指数 92.9
前月比 ▲7.2% (2か月連続)
前年同月比 ▲2.9% (7か月ぶり)
- 全13業種中、上昇は4業種
化学・石油石炭製品工業、鉄鋼・非鉄金属工業等
- 低下は9業種
輸送機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業、電気・情報通信機械工業等

(出所:九州経済産業局)

■ 9月輸出:増加(7か月連続)

(8月:増加)

- 輸出額 5,883億円
前年同月比 +8.2% (7か月連続)
- 主要品目
自動車 679億円 ▲45.9% (8か月ぶり)
電子部品 898億円 +0.6% (3か月連続)
鉄鋼のフラットロール製品
517億円 +91.1% (11か月連続)
- 国別
中国 1,280億円 ▲27.1% (2か月連続)
米国 583億円 +6.6% (8か月連続)
韓国 855億円 +0.7% (14か月連続)

(出所:門司税関)

■ 9月個人消費:横ばい傾向

(8月:弱含み)

- 百貨店・スーパー販売額(全店)
1,146億円 前年同月比 ▲2.2% (2か月連続)
- コンビニ 979億円 +1.3% (2か月ぶり)
- 家電大型専門店 274億円 +2.6% (4か月ぶり)
- ドラッグストア 560億円 ▲6.7% (8か月連続)
- ホームセンター 284億円 ▲17.0% (4か月連続)
- 新車登録台数 27,173台 ▲33.9% (4か月連続)

(出所:九州経済産業局ほか)

■ 9月雇用:求人に改善の動きがみられるものの、厳しさがみられる

(8月:求人に改善の動きがみられるものの、厳しさがみられる)

- 有効求人倍率 1.18倍
前月比±0.00ポイント(横ばい)
- 新規求人倍率 2.04倍
前月比+0.06ポイント
(2か月連続)
- 新規求人数
医療・福祉、卸売業・小売業、建設業、製造業、宿泊業・飲食サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

■ 業況:横ばい

- 9月の業況DI (%ポイント)
全産業 ▲7 変化幅±0
製造業 ▲3 変化幅▲1
非製造業 ▲10 変化幅▲1
- 先行き(12月)
全産業 ▲5 変化幅+2
製造業 +2 変化幅+5
非製造業 ▲8 変化幅+2

(出所:日本銀行福岡支店 短観9月)

■ 設備投資:増加

- 20年度(実績)
全産業 ▲15.6%
製造業 ▲13.1%
非製造業 ▲19.8%
- 21年度(計画)
全産業 +28.3%
製造業 +33.6%
非製造業 +18.5%

(出所:日本銀行福岡支店 短観9月)

■ 9月住宅建設:増加(7か月連続)

- 新設着工戸数 7,903戸
前年同月比+16.8%
(7か月連続)
- 持家 2,890戸
+14.1% (7か月連続)
- 貸家 3,055戸
+11.3% (4か月連続)
- 分譲 1,929戸
+31.6% (8か月連続)

(出所:国土交通省)

■ 9月公共投資:減少(3か月ぶり)

- 工事請負金額 1,656億円
前年同月比▲4.2% (3か月ぶり)
- 発注者別前年同月比
国 ▲9.9%
独立行政法人等 +46.5%
県 ▲3.0%
市町村 ▲11.5%

(出所:西日本建設業保証株)

■ 9月倒産:減少(15か月連続)

- 倒産件数 38件
前年同月比 ▲7.3%
- 負債総額 30.9億円
▲60.5% (2か月ぶり)
- 業種別件数(前年同月比)
製造業 1件 (▲50.0%)
卸・小売業 10件 (▲9.1%)
建設業 8件 (+14.3%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。

九経マンスリー (2021年9月)

2021年11月18日
九州経済産業局

今月の管内経済動向: 九州地域の経済は、横ばいとなっている

生産は横ばい傾向であるが、弱含んでいる。輸出は7か月連続の増加。個人消費は横ばい傾向。雇用は求人に改善の動きがみられるものの、厳しさがみられる。

概 況	九州の主要経済指標(2021年9月)			
1. 生産動向 9月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、92.9となり、前月比が▲7.2%と2か月連続の低下となった。前年同月比は▲2.9%と7か月ぶりの低下となった。	■生産動向【九州経済産業局】	前月比	前年同月比	
	生産指数	92.9	▲7.2	▲2.9
	(参考)出荷指数	84.4	▲11.3	▲9.9
	在庫指数	94.2	1.6	▲8.2
2. 設備投資動向 2021年度の設備投資(計画)は、製造業は前年度比+33.6%、非製造業は同+18.5%、全産業は同+28.3%と前年度を上回る見込み。	■設備投資動向【日本銀行福岡支店】(2021年度計画)	2020年度	2021年度	
	全産業	▲15.6	28.3	
	製造業	▲13.1	33.6	
	非製造業	▲19.8	18.5	
3. 貿易動向 9月の輸出額は、前年同月比+8.2%と7か月連続の増加。輸入額は+40.4%と6か月連続の増加となった。	■貿易動向【財務省】			
	輸出通関額	5,883億円		8.2
	輸入通関額	5,163億円		40.4
4. 消費動向	■百貨店・スーパー販売額【九州経済産業局】			
●百貨店・スーパー販売額 9月の百貨店・スーパー販売額は1,146億円で前年同月比▲2.2%と2か月連続の減少となった。百貨店は269億円で同▲3.2%と2か月連続の減少、スーパーは877億円で同▲1.9%と4か月連続の減少となった。	合計	114,586百万円		▲2.2
	百貨店	26,910百万円		▲3.2
	スーパー	87,676百万円		▲1.9
●コンビニエンスストア販売額 9月のコンビニエンスストア販売額は、979億円で、前年同月比+1.3%の増加となった。店舗数は5,550店となった。	■コンビニエンスストア販売額【九州経済産業局】			
	販売額	97,852百万円		1.3
	店舗数	5,550店		0.4
●家電販売額 9月の家電販売額は274億円で、前年同月比+2.6%の増加となった。	■家電販売額【九州経済産業局】			
	販売額	27,431百万円		2.6
●乗用車新車登録・届出台数 9月の乗用車新車登録・届出台数は、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車が前年を下回り、乗用車全体で前年同月比▲33.9%と4か月連続の減少となった。	■乗用車新車登録・届出台数【福岡県自動車販売店協会等】			
	乗用車計	27,173台		▲33.9
	普通乗用車	10,070台		▲25.9
	小型乗用車	5,801台		▲46.4
	軽自動車	11,302台		▲32.5
●家計調査 ※2018年1月分より一か月遅れの更新となります。 8月の消費支出(二人以上の世帯)は262,567円で、前年同月比0.0%と横ばいとなった。実収入(勤労者世帯)は、同+5.4%と2か月連続の増加となった。	■家計調査【総務省】(2021年8月)			
	消費支出	262,567円		(実質) 0.0
	(二人以上の世帯)			
	実収入	534,288円		(実質) 5.4
	(勤労者世帯)			
	平均消費性向(季調値、全国)	59.7%		▲4.6
●賃金(現金給与総額) 7月の賃金(5人以上の事業所)は、全産業では前年同月比+1.8%と8か月連続の増加、製造業は同+5.6%と7か月連続の増加となった。	■賃金【各県】(2021年7月)			
	全産業	333,031円		1.8
	製造業	397,520円		5.6
5. 住宅建設動向 9月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲が増加し、全体で前年同月比+16.8%と7か月連続の増加となった。	■住宅建設動向【国土交通省】			
	住宅着工計	7,903戸		16.8
	持家	2,890戸		14.1
	貸家	3,055戸		11.3
	分譲住宅	1,929戸		31.6
6. 物価動向 9月の消費者物価指数(九州)は、100.1で前年同月比0.0%と横ばい(前月比+0.6%)となった。国内企業物価指数は、106.4で前年同月比+6.3%と7か月連続の上昇(前月比+0.3%)となった。	■物価動向【日本銀行・総務省】			
	消費者物価指数(九州)	100.1	0.6	0.0
	企業物価指数(全国)	106.4	0.3	6.3
7. 雇用動向 9月の有効求人倍率は前月比0.00ポイントの1.18倍、新規求人倍率は同+0.06ポイントの2.04倍となった。	■雇用動向【九州各労働局】			
	有効求人倍率(季調値)	1.18倍	0.00	0.15
	新規求人倍率(季調値)	2.04倍	0.06	0.11
8. 公共投資動向 9月の公共工事請負金額は、前年と比較し、独立行政法人等が増加したものの、国、県、市町村が減少し、全体で前年同月比▲4.2%と3か月ぶりの減少となった。	■公共投資動向【工事請負】【西日本建設業保証㈱】			
	請負金額	165,567百万円		▲4.2
9. 企業倒産動向 9月の倒産件数は前年同月比▲7.3%と15か月連続の減少、負債金額は同▲60.5%と2か月ぶりの減少となった。	■企業倒産動向【㈱東京商工リサーチ福岡支社】			
	倒産件数	38件		▲7.3
	負債金額	3,093百万円		▲60.5

(注) ・「1. 生産動向」の指数は季調値、ただし前年比は原数値で比較。 ・「4. 消費動向」中、消費支出・実収入の前年比は、算出にあたって消費者物価指数(総務省)により実質化。また、平均消費性向は前年差で表記。

九 経 サ マ リ ー

— 最近の九州経済の動向について —

2021年11月18日
九州経済産業局

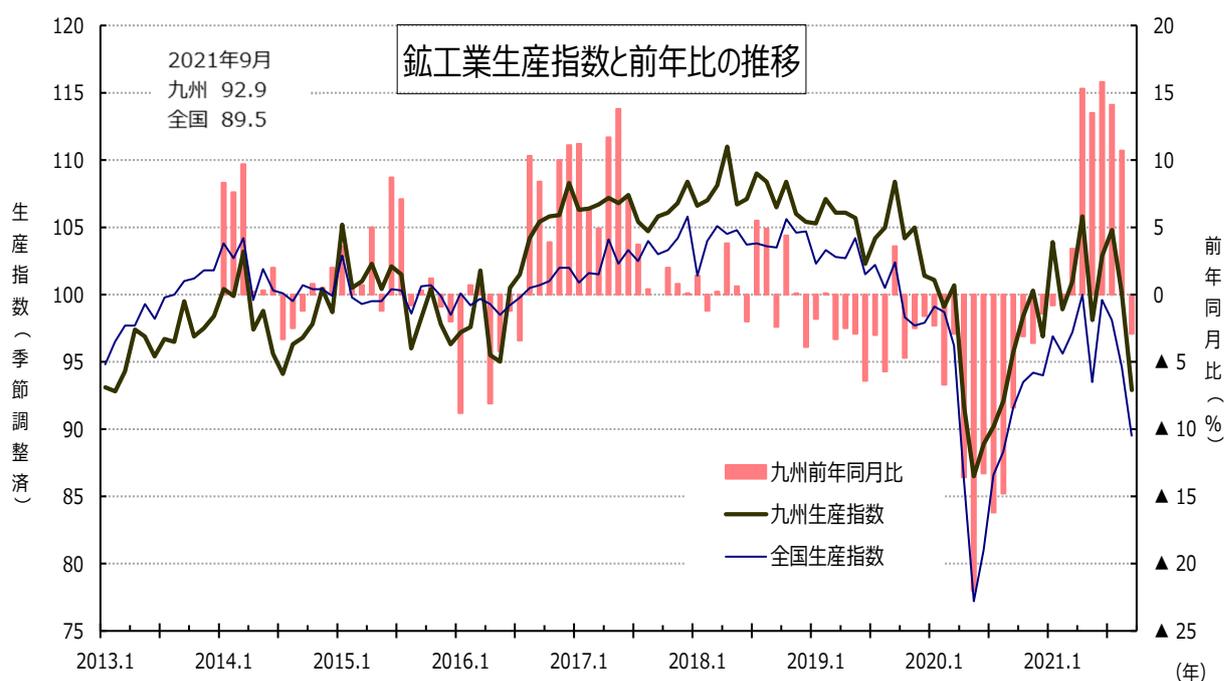
1. 生産動向

(1) 全体

2021年9月の鉱工業生産指数(季節調整済)は92.9となり、前月比が▲7.2%と2か月連続の低下、前年同月比は▲2.9%と7か月ぶりの低下となった。

	九州				全国			
	季節調整済指数		原指数		季節調整済指数		原指数	
	前月比 %	前年同月比 %	前月比 %	前年同月比 %	前月比 %	前年同月比 %	前年同月比 %	
生産	92.9	▲ 7.2	98.9	▲ 2.9	89.5	▲ 5.4	93.2	▲ 2.3
出荷	84.4	▲ 11.3	90.0	▲ 9.9	86.5	▲ 6.2	90.7	▲ 4.6
在庫	94.2	1.6	94.8	▲ 8.2	98.4	3.7	97.5	0.8
在庫率	110.2	▲ 1.4	106.8	▲ 19.5	120.4	5.9	113.3	0.7

▲印は低下を示す。(2015年=100)

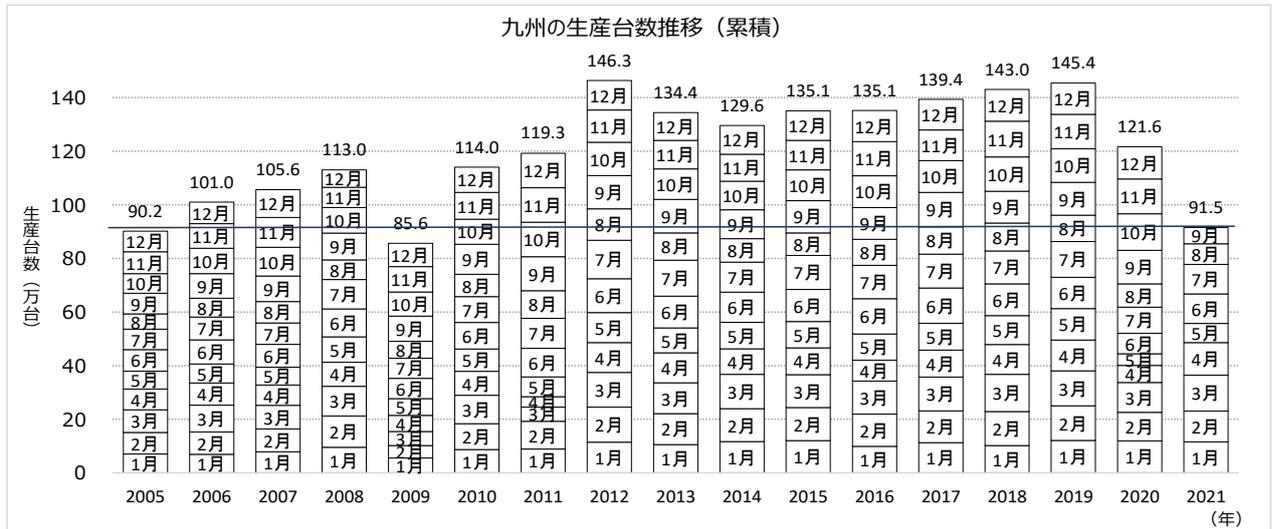


【生産】 前月比 ▲7.2 % 2か月連続低下 (全13業種中 上昇4業種、低下9業種、横ばい0業種)

主な上昇・低下業種/ウェイト		前年 同月比	前月比		主な上昇・低下品目
			前月	今月	
上昇	化学・石油石炭製品工業	997.5	12.7	▲0.6	6.9 プラスチック、無機薬品・触媒 等
	鉄鋼・非鉄金属工業	770.7	6.9	▲5.0	2.7 鉄素製品 (含.鋼半製品)、アルミニウム押出製品 等
低下	輸送機械工業	1,351.7	▲43.3	▲14.1	▲37.1 普通乗用車、軽・小型乗用車 等
	汎用・生産用・業務用機械工業	1,216.8	36.2	1.3	▲10.3 半導体製造装置、化学機械・同装置 等
	その他工業	903.4	6.9	▲2.9	▲5.4 ゴム製品、外衣 等
	電気・情報通信機械工業	638.9	▲1.2	▲12.2	▲4.8 電気照明器具、一般用タービン・エンジン発電機 等

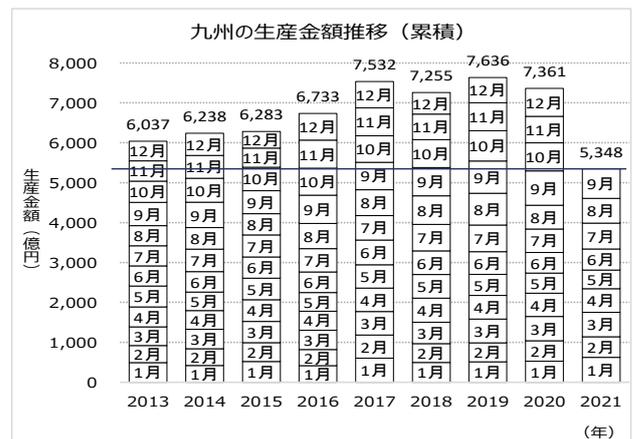
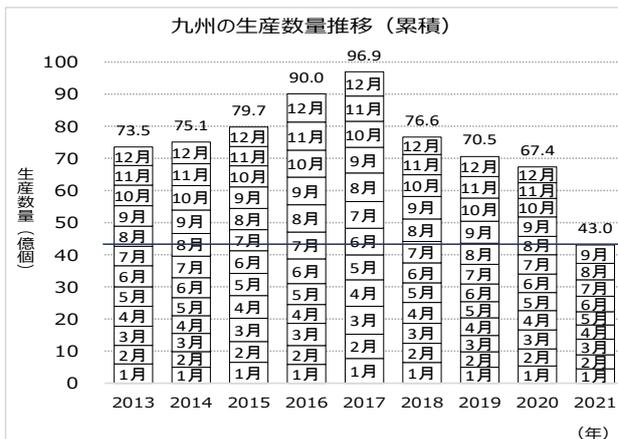
(2) 四輪自動車生産動向

生産台数は 61,005 台と、前月比▲20.9%、前年同月比▲51.2%となった。



(3) IC生産動向

生産は、数量で 5 億 6,546 万個と、前月比+10.4%、前年同月比▲6.9%となった。
金額で 739 億 3,700 万円と、前月比+19.2%、前年同月比▲14.2%となった。



2. 設備投資動向

設備投資額(含む土地投資額)(九州・沖縄) (前年度比、%)

	20年度		21年度	
		修正率	(計画)	修正率
製造業	▲ 13.1	-	33.6	▲ 0.5
非製造業 (除 電気・ガス)	▲ 19.8	-	18.5	1.2
全産業 (除 電気・ガス)	▲ 15.6	-	28.3	0.0
(参考)全国全産業	▲ 8.5	-	7.9	0.8

(注1)ソフトウェア投資額・研究開発投資額は含まない。

(注2)修正率(%)は前回調査との対比。

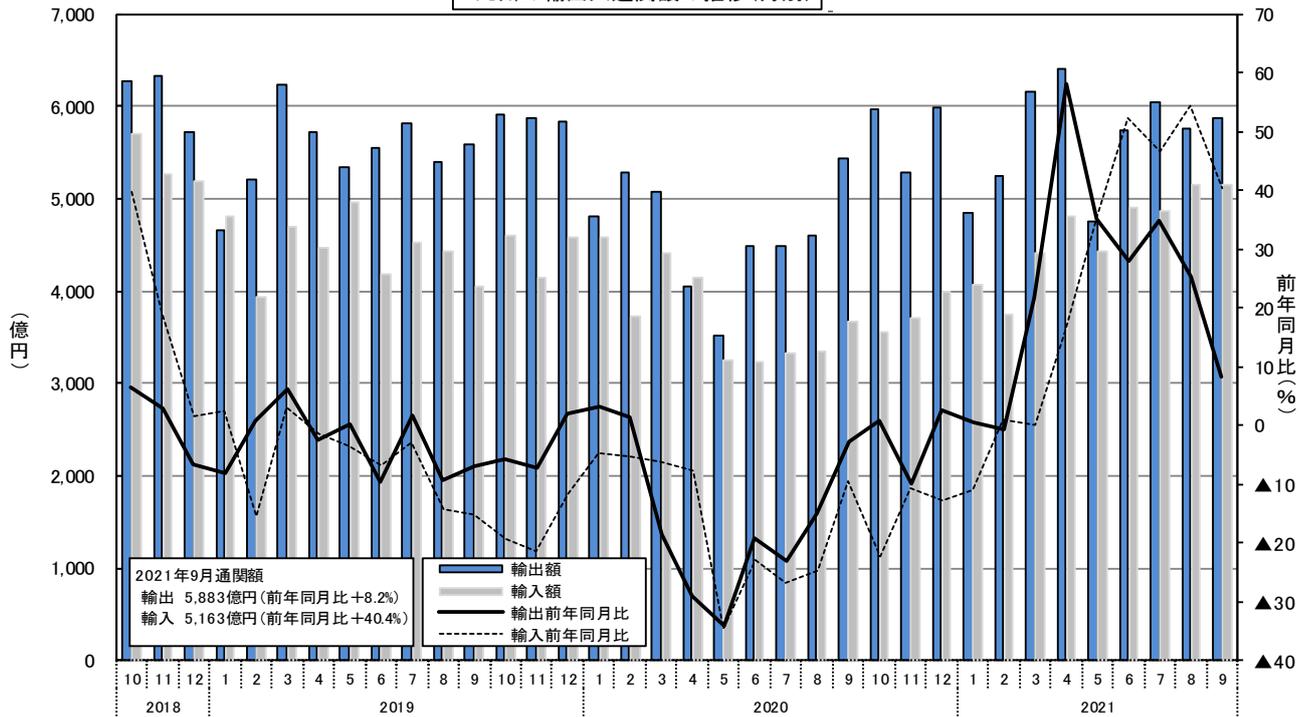
出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」9月

3. 貿易動向

9月		金額	前年同月比		全国シェア
輸出	九州	5,883億円	+ 8.2%	7か月連続の増加	8.6%
	全国	6兆8,410億円	+ 13.0%	7か月連続の増加	-
輸入	九州	5,163億円	+ 40.4%	6か月連続の増加	6.9%
	全国	7兆4,650億円	+ 38.2%	8か月連続の増加	-
貿易収支	九州	+ 720億円	-	17か月連続の貿易黒字	-
	全国	▲6,241億円	-	2か月連続の貿易赤字	-

		2019年	2020年	2020年	2021年			2021年			
				10~12	1~3	4~6	7~9	6月	7月	8月	9月
輸出通関額(円)	九州	▲ 3.3	▲ 12.2	▲ 2.2	7.2	40.3	R 21.8	28.1	34.9	25.2	R 8.2
	前年比:% 全国	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 0.8	6.0	45.0	R 24.9	48.6	37.0	26.2	R 13.0
輸入通関額(円)	九州	▲ 9.3	▲ 15.8	▲ 15.4	▲ 3.8	33.2	P 46.9	52.3	46.5	R 54.5	P 40.4
	前年比:% 全国	▲ 5.0	▲ 13.5	▲ 11.4	1.9	23.6	P 36.8	32.5	28.1	R 44.5	P 38.2
対アジア	輸出	▲ 0.8	▲ 4.1	2.7	11.9	32.2	R 9.9	28.3	23.3	13.6	R ▲ 4.7
	前年比:% 輸入	▲ 6.7	▲ 10.5	▲ 1.9	11.9	28.3	P 27.1	35.1	23.2	R 35.5	P 23.5
為替レート(¥/\$) (期中平均)		109.01	106.78	104.49	105.90	109.48	110.10	110.11	110.29	109.84	110.17
原油輸入価格 (CIFベース\$/B)		66.79	47.14	43.84	55.87	66.95	P 73.19	69.12	71.76	R 73.78	P 73.81

九州の輸出入通関額の推移(月別)



出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※()内は前年同月比
増加	船舶類	450	+142.6%	2か月連続	+4.9%	ASEAN(+1.1%)、韓国(+92.2%)等が増加。
増加	鉄鋼のフラットロール製品	517	+ 91.1%	11か月連続	+4.5%	ASEAN(+82.2%)、韓国(+493.9%)、EU(+7000.5%)、台湾(+226.3%)、香港(+61.5%)等が増加。中国(▲7.4%)、中東(▲28.5%)、アメリカ(▲48.8%)等が減少。
増加	ゴムタイヤ及びチューブ	206	+ 46.0%	7か月連続	+1.2%	EU(+99.2%)、中東(+66.1%)、ASEAN(+109.4%)、中国(+72.4%)、韓国(+1.9%)、香港(+26.6%)等が増加。アメリカ(▲13.5%)、台湾(▲24.6%)等が減少。
増加	有機化合物	200	+ 38.2%	6か月連続	+1.0%	中国(+36.7%)、韓国(+42.6%)、ASEAN(+109.2%)、EU(+11.6%)、アメリカ(+12.2%)、台湾(+22.6%)、香港(+646.0%)等が増加。中東(▲69.2%)等が減少。
増加	半導体等電子部品	898	+ 0.6%	3か月連続	+0.1%	韓国(+21.5%)、ASEAN(+6.3%)、中国(+9.9%)、台湾(+35.7%)、アメリカ(+982.8%)等が増加。香港(▲26.8%)、EU(▲20.1%)、中東(▲100.0%)等が減少。
減少	自動車	679	▲ 45.9%	8か月ぶり	▲10.6%	中国(▲72.7%)、アメリカ(▲34.1%)、中東(▲0.9%)、EU(▲52.2%)、ASEAN(▲19.3%)、韓国(▲78.4%)、香港(▲92.7%)等が減少。
減少	半導体等製造装置	277	▲ 54.1%	5か月連続	▲6.0%	台湾(+46.0%)、アメリカ(+5570.5%)、EU(+639.7%)等が増加。中国(▲58.8%)、韓国(▲65.5%)、ASEAN(▲52.8%)、中東(▲23.6%)等が減少。

輸入	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	数量	前年同月比	
増加	原油及び粗油	838	+ 48.3%	5か月連続	+7.5%	1,655千KL	▲ 10.3%	3か月ぶり
減少	液化天然ガス	103	▲ 8.3%	2か月ぶり	▲0.3%	2,021百MT	▲ 46.5%	3か月連続

輸出	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要品目の動き ※()内は前年同月比
増加	ASEAN	890	+ 25.4%	7か月連続	+3.3%	半導体等電子部品(+6.3%)、鉄鋼のフラットロール製品(+82.2%)、有機化合物(+109.2%)、船舶類(+1.1%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+109.4%)等が増加。自動車(▲19.3%)、半導体等製造装置(▲52.8%)等が減少。
増加	台湾	392	+ 72.4%	9か月連続	+3.0%	半導体等電子部品(+35.7%)、半導体等製造装置(+46.0%)、鉄鋼のフラットロール製品(+226.3%)、有機化合物(+22.6%)等が増加。ゴムタイヤ及びチューブ(▲24.6%)等が減少。
増加	EU	395	+ 34.6%	7か月連続	+1.9%	鉄鋼のフラットロール製品(+7000.5%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+99.2%)、有機化合物(+11.6%)、半導体等製造装置(+639.7%)等が増加。自動車(▲52.2%)、半導体等電子部品(▲20.1%)等が減少。
増加	アメリカ合衆国	583	+ 6.6%	8か月連続	+0.7%	半導体等製造装置(+5570.5%)、有機化合物(+12.2%)、半導体等電子部品(+982.8%)等が増加。自動車(▲34.1%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲13.5%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲48.8%)等が減少。
増加	中東	125	+ 8.9%	6か月連続	+0.2%	ゴムタイヤ及びチューブ(+66.1%)等が増加。自動車(▲0.9%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲28.5%)、半導体等製造装置(▲23.6%)、有機化合物(▲69.2%)、半導体等電子部品(▲100.0%)等が減少。
増加	大韓民国	855	+ 0.7%	14か月連続	+0.1%	半導体等電子部品(+21.5%)、鉄鋼のフラットロール製品(+493.9%)、有機化合物(+42.6%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+1.9%)、船舶類(+92.2%)等が増加。半導体等製造装置(▲65.5%)、自動車(▲78.4%)等が減少。
減少	中華人民共和国	1,280	▲ 27.1%	2か月連続	▲8.8%	有機化合物(+36.7%)、半導体等電子部品(+9.9%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+72.4%)等が増加。自動車(▲72.7%)、半導体等製造装置(▲58.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲7.4%)等が減少。
減少	香港	278	▲ 22.4%	9か月連続	▲1.5%	鉄鋼のフラットロール製品(+61.5%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+26.6%)、有機化合物(+646.0%)等が増加。半導体等電子部品(▲26.8%)、自動車(▲92.7%)等が減少。

輸入	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度
増加	中東	891	+ 70.6%	5か月連続	+10.0%
増加	オーストラリア	648	+ 81.7%	6か月連続	+7.9%
増加	中華人民共和国	929	+ 24.6%	8か月連続	+5.0%
増加	ASEAN	681	+ 26.3%	8か月連続	+3.9%
増加	アメリカ合衆国	330	+ 25.5%	4か月連続	+1.8%
増加	大韓民国	221	+ 24.7%	7か月連続	+1.2%
増加	ロシア	149	+ 36.5%	4か月連続	+1.1%
増加	ペルー	32	+205.5%	2か月ぶり	+0.6%
増加	EU	109	+ 5.2%	7か月連続	+0.1%
増加	ナイジェリア	2	+291.2%	4か月連続	+0.0%

4. 消費動向

(1)百貨店・スーパー

(単位：百万円、%)

	販売額	合 計		販売額	百貨店		販売額	スーパー	
		前年同月比 全店 (既存店)	前年同月比 全店 (既存店)		前年同月比 全店 (既存店)	前年同月比 全店 (既存店)			
全 国	1,556,561	▲ 0.7	(▲ 1.3)	353,955	▲ 4.5	(▲ 4.2)	1,202,606	0.4	(▲ 0.3)
九州計	114,586	▲ 2.2	(▲ 2.9)	26,910	▲ 3.2	(▲ 3.2)	87,676	▲ 1.9	(▲ 2.8)
衣料品	18,947	▲ 9.4	(▲ 9.5)	11,972	▲ 5.8	(▲ 5.8)	6,975	▲ 15.1	(▲ 15.3)
飲食料品	63,928	1.5	(0.2)	6,295	2.3	(2.3)	57,633	1.4	(▲ 0.0)
その他	31,711	▲ 4.5	(▲ 4.6)	8,643	▲ 3.3	(▲ 3.3)	23,068	▲ 4.9	(▲ 5.0)

【注】九州計の数値は沖縄を含む

	品 目	寄与度 (全店)	主 な 動 き (全店)	前年同月比(%)	
				全店	既存店
百貨店	合計	▲ 3.2	新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛に伴う入店客数の減少などにより2か月連続で前年を下回った。	▲ 3.2	▲ 3.2
	衣料品計	▲ 2.6	インポート物に動きはみられたものの気温高の影響により季節商材の動きが鈍かったことなどから2か月連続の減少となった。	▲ 5.8	▲ 5.8
	飲食料品	0.5	惣菜やリカーに加え食品催事等に動きがみられ2か月ぶりの増加となった。	2.3	2.3
	その他計	▲ 1.1	高額品に動きはみられたものの化粧品等の動きが鈍く2か月連続の減少となった。	▲ 3.3	▲ 3.3
スーパー	合計	▲ 1.9	内食需要の継続により飲食料品に動きがみられたものの衣料品が不調だったことなどから4か月連続で前年を下回った。	▲ 1.9	▲ 2.8
	衣料品計	▲ 1.4	新型コロナウイルス感染症の影響による外出機会の減少や気温高の影響から季節商材の動きが鈍かったことなどから全般的に不調で4か月連続の減少となった。	▲ 15.1	▲ 15.3
	飲食料品	0.9	外出自粛による内食需要の継続に加え農産物の相場高の影響などにより2か月ぶりの増加となった。	1.4	▲ 0.0
	その他計	▲ 1.3	全般的に動きが鈍く4か月連続で減少となった。	▲ 4.9	▲ 5.0

(2)コンビニエンスストア、専門量販店

(単位：百万円、店、%)

	九 州				全 国			
	販売額	前年比	店舗数	前年比	販売額	前年比	店舗数	前年比
コンビニエンスストア	97,852	1.3	5,550	0.4	997,274	1.1	56,342	0.5
全国比	9.8	—	9.9	—	—	—	—	—
家電大型専門店	27,431	2.6	318	5.0	355,101	▲ 3.3	2,611	2.0
全国比	7.7	—	12.2	—	—	—	—	—
ドラッグストア	56,013	▲ 6.7	1,431	▲ 6.6	601,852	3.0	17,368	3.5
全国比	9.3	—	8.2	—	—	—	—	—
ホームセンター	28,352	▲ 17.0	547	1.3	265,421	▲ 3.2	4,370	▲ 0.7
全国比	10.7	—	12.5	—	—	—	—	—

(3) 乗用車新車登録・届出台数動向

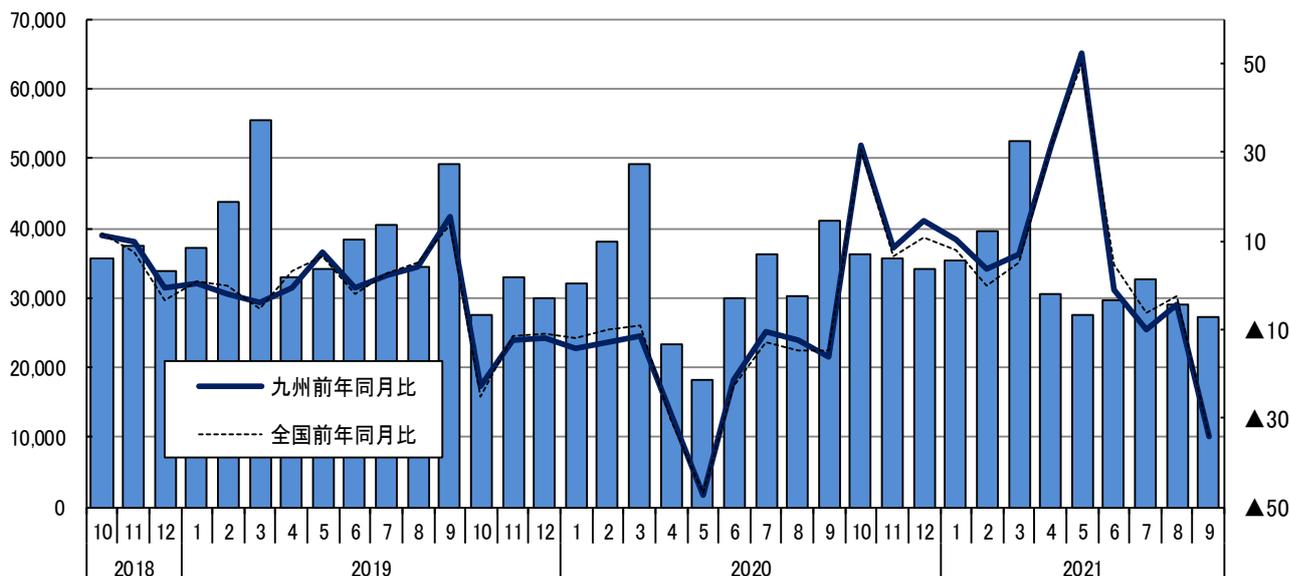
9月	九州			全国		
	台数(台)	前年同月比		台数(台)	前年同月比	
全体	27,173台	▲ 33.9%	4か月連続	256,506台	▲ 34.3%	3か月連続
普通	10,070台	▲ 25.9%	12か月ぶり	108,724台	▲ 26.6%	12か月ぶり
小型	5,801台	▲ 46.4%	4か月連続	60,542台	▲ 41.7%	4か月連続
軽	11,302台	▲ 32.5%	4か月連続	87,240台	▲ 37.0%	4か月連続

		2019年	2020年	2020年	2021年			2021年			
				10~12	1~3	4~6	7~9	6月	7月	8月	9月
九州	全体	▲ 1.9	▲ 11.4	17.6	6.9	23.0	▲ 17.6	▲ 1.2	▲ 10.1	▲ 4.2	▲ 33.9
	普通乗用車	1.6	▲ 13.0	29.3	20.4	46.1	▲ 3.0	26.4	13.2	13.7	▲ 25.9
	小型乗用車	▲ 6.1	▲ 9.9	4.0	▲ 14.0	▲ 7.3	▲ 22.3	▲ 19.2	▲ 11.3	▲ 4.0	▲ 46.4
	軽自動車	▲ 1.6	▲ 11.1	17.5	12.0	30.4	▲ 24.9	▲ 8.2	▲ 24.3	▲ 16.0	▲ 32.5
全国	全体	▲ 2.0	▲ 11.5	15.3	4.2	25.0	▲ 16.4	4.5	▲ 6.5	▲ 2.5	▲ 34.3
	普通乗用車	0.2	▲ 13.6	24.6	15.8	47.0	▲ 4.3	27.2	12.0	12.3	▲ 26.6
	小型乗用車	▲ 5.9	▲ 10.4	3.0	▲ 13.3	▲ 4.0	▲ 20.4	▲ 12.6	▲ 8.4	▲ 6.7	▲ 41.7
	軽自動車	▲ 1.1	▲ 10.0	15.7	7.9	32.1	▲ 25.0	▲ 3.2	▲ 21.5	▲ 12.8	▲ 37.0

台

乗用車新車登録・届出台数の推移[月別]

(軽自動車含む) 前年同月比 (%)



出所: 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

(4) 家計調査動向

(二人以上の世帯)

8月	名 目		実質/前年同月比	
消費支出	九州	26万2,567円	0.0%	横ばい
	全国	26万6,638円	▲ 3.0%	2か月ぶり

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

8月	名 目		実質/前年同月比	
実収入	九州	53万4,288円	+ 5.4%	2か月連続
	全国	55万5,009円	+ 5.4%	4か月ぶり

出所:総務省「家計調査報告」

(5) 賃 金 (現金給与総額)

7月 九州	現金給与総額	前年同月比		残業時間	前年同月比	
全産業	33万3,031円	+ 1.8%	8か月連続	9.1時間	+ 7.6%	4か月連続
製造業	39万7,520円	+ 5.6%	7か月連続	14.2時間	+ 31.7%	5か月連続

5人以上規模・全国製造業入り

毎月勤労統計		2019年	2020年	2020年		2021年		2021年			
				7~9	10~12	1~3	4~6	5月	6月	7月	8月
九州	全産業	▲ 1.7	0.1	0.9	0.1	1.6	1.8	2.2	0.3	1.8	-
	製造業	▲ 3.6	▲ 2.4	▲ 2.7	▲ 4.0	5.7	3.3	3.3	3.3	5.6	-
全国	全産業	▲ 0.4	▲ 1.2	▲ 1.2	▲ 2.1	▲ 0.3	1.0	1.9	0.1	0.6	0.6
	製造業	▲ 0.3	▲ 3.4	▲ 3.7	▲ 3.8	0.6	3.3	2.7	4.2	1.8	2.7

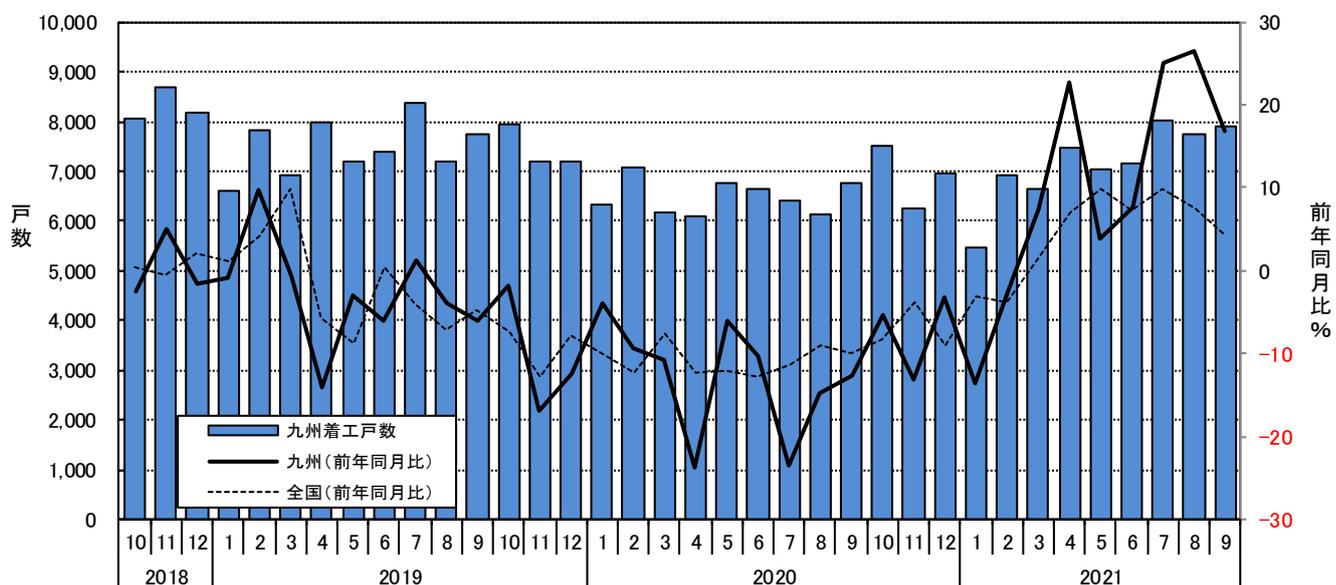
出所:九州各県、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

5. 住宅建設動向

9月				
九州	戸数(戸)	前年同月比(%)		
総数	7,903戸	+ 16.8%	7か月連続	
持家	2,890戸	+ 14.1%	7か月連続	
貸家	3,055戸	+ 11.3%	4か月連続	
分譲	1,929戸	+ 31.6%	8か月連続	
全国	戸数(戸)	前年同月比(%)		
総数	73,178戸	+ 4.3%	7か月連続	
持家	25,659戸	+ 14.9%	11か月連続	
貸家	28,254戸	+ 12.8%	7か月連続	
分譲	18,855戸	▲ 14.9%	3か月ぶり	

項目			2019年	2020年	2020年	2021年			2021年			
					10~12	1~3	4~6	7~9	6月	7月	8月	9月
新設住宅着工戸数	九州	▲ 5.0	▲ 11.6	▲ 7.2	▲ 3.0	11.1	22.6	7.7	25.2	26.5	16.8	
	全国	▲ 4.0	▲ 9.9	▲ 7.0	▲ 1.6	8.1	7.2	7.3	9.9	7.5	4.3	
持家	九州	▲ 1.2	▲ 12.6	▲ 5.0	▲ 0.6	11.8	19.0	13.3	29.0	14.4	14.1	
	全国	1.9	▲ 9.6	▲ 0.9	3.4	11.7	14.7	10.6	14.8	14.5	14.9	
貸家	九州	▲ 11.5	▲ 9.5	▲ 6.8	▲ 11.0	2.3	18.6	2.4	18.8	25.7	11.3	
	全国	▲ 13.7	▲ 10.4	▲ 10.4	▲ 5.1	10.0	7.2	11.8	5.5	3.8	12.8	
分譲住宅	九州	2.9	▲ 13.2	▲ 12.1	9.2	28.2	37.1	6.1	29.1	58.3	31.6	
	全国	4.9	▲ 10.2	▲ 11.4	▲ 1.9	2.1	▲ 0.3	▲ 1.5	11.0	5.3	▲ 14.9	

住宅着工戸数の推移(月別)



出所: 国土交通省「建築着工統計調査」

6. 物価動向

9月	九州	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	100.1	+ 0.6%	5か月連続	0.0%	横ばい
9月	全国	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	100.1	+ 0.4%	2か月ぶり	+ 0.2%	13か月ぶり

9月	全国	企業物価指数	前月比		前年同月比	
	国内企業物価指数	106.4	+ 0.3%	10か月連続	+ 6.3%	7か月連続
	輸出物価指数(円ベース)	99.9	+ 0.3%	2か月ぶり	+ 11.0%	8か月連続
	輸入物価指数(円ベース)	108.2	+ 1.1%	11か月連続	+ 31.3%	7か月連続

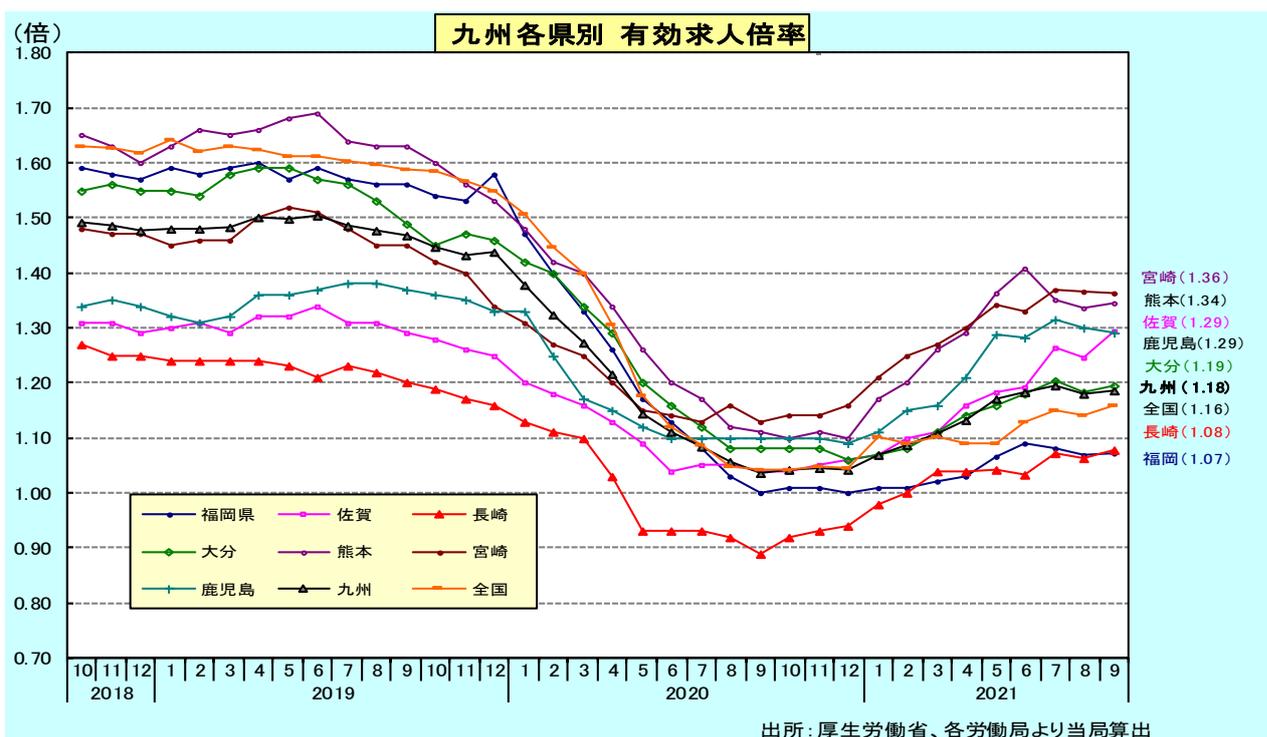
出所:総務省「消費者物価指数」(2020年基準)、日本銀行「企業物価指数」(2015年基準)

7. 雇用動向

項目		2019年	2020年	2020年	2021年			2021年			
				10~12	1~3	4~6	7~9	6月	7月	8月	9月
有効求人倍率	九州	1.47	1.14	1.04	1.09	1.16	1.19	1.18	1.19	1.18	1.18
	全国	1.60	1.18	1.04	1.10	1.10	1.15	1.13	1.15	1.14	1.16
新規求人倍率	九州	2.15	1.83	1.88	1.90	1.94	1.99	1.96	1.95	1.98	2.04
	全国	2.42	1.95	2.00	1.97	1.99	2.02	2.08	1.98	1.97	2.10

(注1)月次と求人倍率の四半期は季節調整済値による

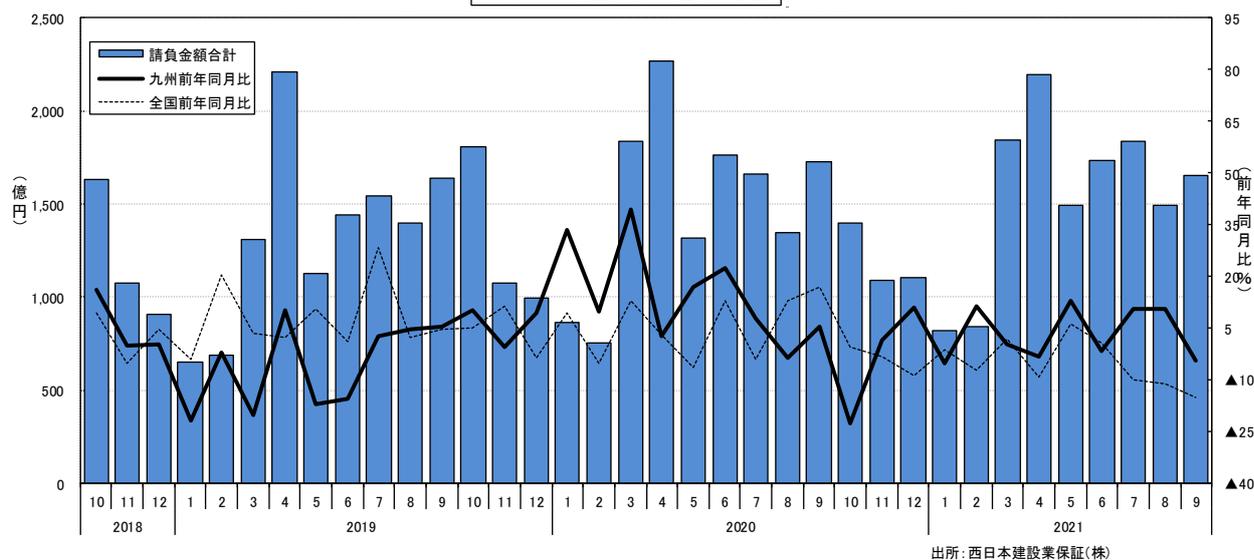
出所:厚生労働省、各労働局資料より当局算出



8. 公共投資動向

9月	請負額	前年同月比		前年同月比				
				国	独立行政法人	県	市町村	その他
九州	1,656億円	▲ 4.2%	3か月ぶり	▲ 9.9%	+ 46.5%	▲ 3.0%	▲ 11.5%	+ 85.4%
全国	12,682億円	▲ 15.1%	3か月連続	▲ 38.4%	▲ 4.5%	▲ 4.3%	▲ 12.3%	▲ 29.4%

公共工事保証実績の推移(月別)

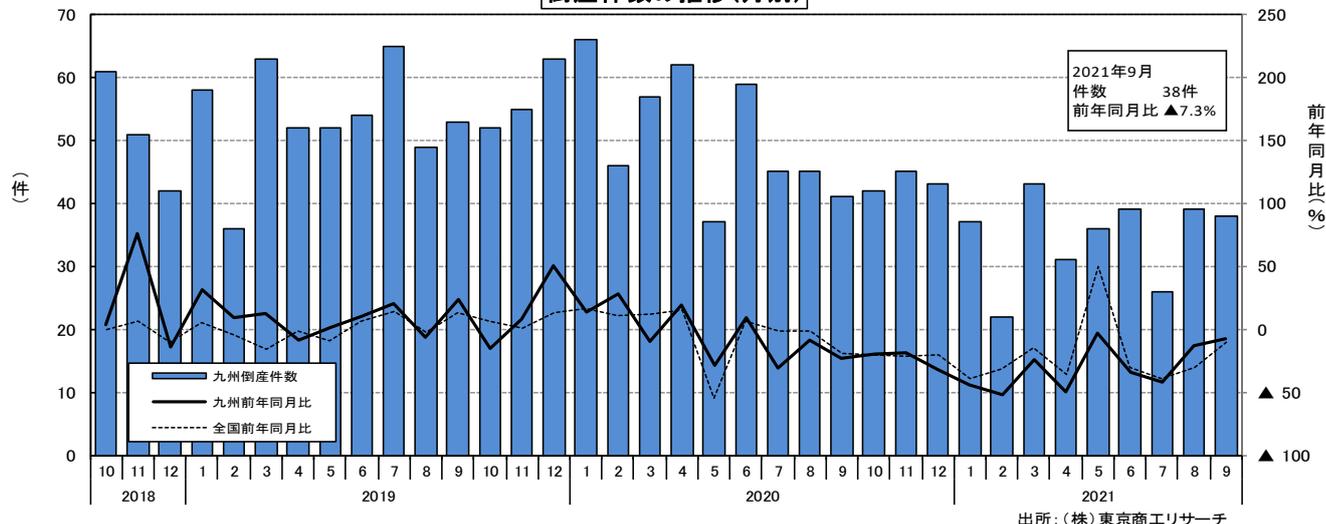


9. 企業倒産動向

9月		前年同月比	
倒産件数	九州	38件	▲ 7.3% 15か月連続
	全国	505件	▲ 10.6% 4か月連続
負債総額	九州	30.9億円	▲ 60.5% 2か月ぶり
	全国	908.6億円	+ 28.4% 2か月連続

9月	業種別	前年同月比	
倒産件数	製造	1件	▲ 50.0% 2か月ぶり
	卸・小売	10件	▲ 9.1% 3か月連続
	建設	8件	+ 14.3% 4か月ぶり
	その他	19件	▲ 9.5% 6か月連続

倒産件数の推移(月別)



(参考)業況判断

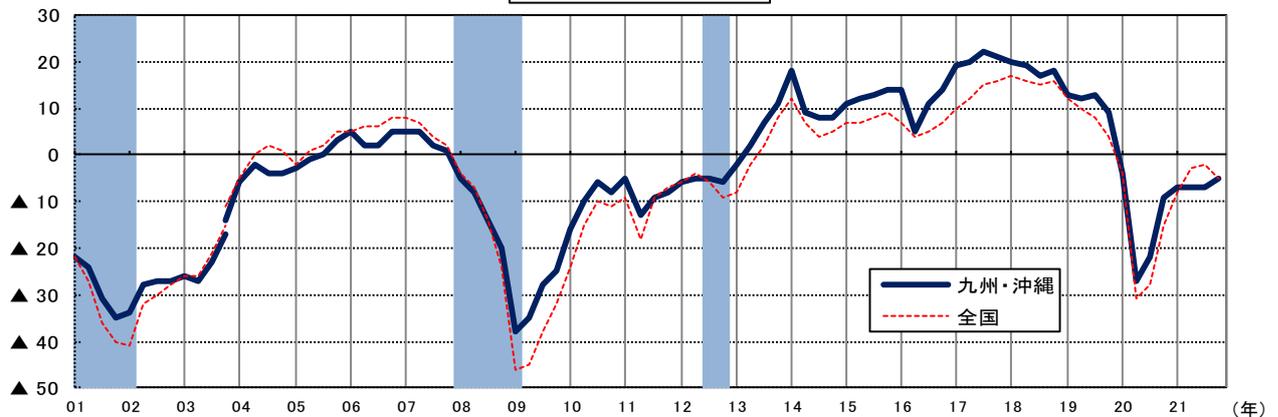
(1) 日本銀行「企業短期経済観測調査」

日銀短観(9月調査)によると、九州・沖縄の業況判断DIは、製造業DIは▲3(前回調査比▲1ポイント)、非製造業は▲10(同▲1ポイント)、全産業で▲7(同±0ポイント)となった。次回予測(21年12月)の数値は、製造業は+2(9月比+5ポイント)、非製造業は▲8(同+2ポイント)、全産業で▲5(同+2ポイント)と予測。

業況判断DI		2019年			2020年				2021年 (先行き)			
		6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
全産業	九州・沖縄	12	13	9	▲4	▲27	▲22	▲9	▲7	▲7	▲7	▲5
	全国	10	8	4	▲4	▲31	▲28	▲15	▲8	▲3	▲2	▲5
製造業	九州・沖縄	5	2	▲2	▲5	▲31	▲29	▲13	▲4	▲2	▲3	2
	全国	3	▲1	▲4	▲12	▲39	▲37	▲20	▲6	2	5	2
非製造業	九州・沖縄	17	18	14	▲4	▲24	▲19	▲6	▲8	▲9	▲10	▲8
	全国	14	14	11	1	▲25	▲21	▲11	▲9	▲7	▲7	▲8

※調査対象企業見直しに伴い、27年3月調査以降は新ベースデータ。

業況判断DIの推移



(注) 網掛け部分は景気後退期

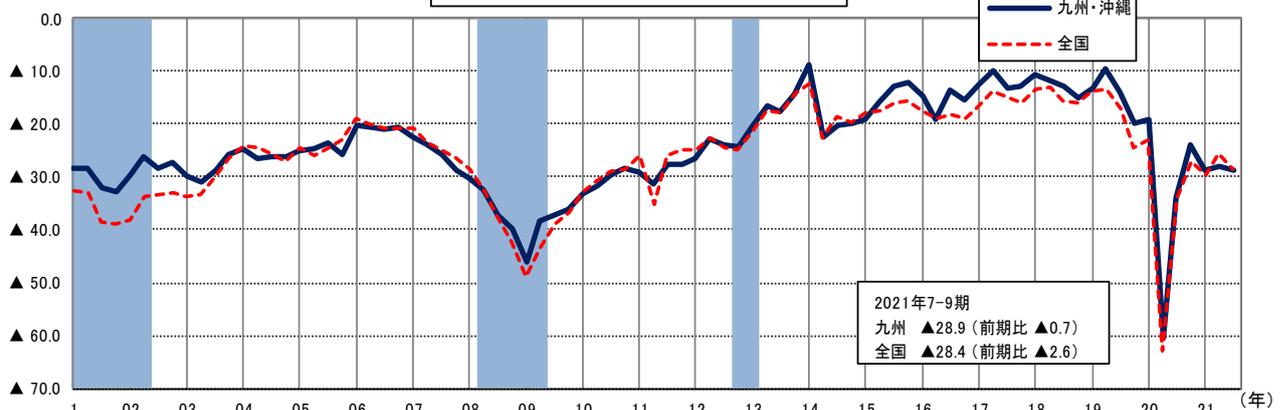
出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」

(2) 中小企業庁「中小企業景況調査」

中小企業景況調査(2021年7-9月期)によると、九州・沖縄における中小企業の業況判断DI(前期比季調値)は全産業で▲28.9と前期から▲0.7ポイントの低下となった。

業況判断DI (前期比季調値)		2019年			2020年			2021年			
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
全産業	九州・沖縄	▲9.5	▲13.9	▲19.8	▲19.1	▲60.7	▲34.1	▲24.1	▲28.7	▲28.2	▲28.9
	全国	▲13.5	▲17.2	▲24.4	▲23.1	▲63.0	▲34.0	▲27.1	▲29.5	▲25.8	▲28.4
製造業	九州・沖縄	▲10.9	▲15.1	▲22.0	▲19.8	▲66.2	▲35.5	▲27.6	▲21.6	▲22.5	▲20.8
	全国	▲13.6	▲17.0	▲25.3	▲26.7	▲65.2	▲39.9	▲29.5	▲25.0	▲17.2	▲17.5
非製造業	九州・沖縄	▲8.7	▲13.7	▲19.3	▲18.7	▲58.9	▲34.0	▲23.3	▲30.5	▲29.4	▲32.5
	全国	▲13.6	▲16.9	▲24.1	▲22.0	▲62.4	▲31.9	▲26.5	▲31.2	▲28.8	▲32.1

中小企業の業況判断DI(前期比季調値)



(注) 網掛け部分は景気後退期

出所: 中小企業庁「中小企業景況調査」